

高齢者・障がい者入所施設に係る感染症対策専門家派遣指導事業 指導結果

指導年月日	令和3年11月16日（火）		
高齢・障がい	高齢者施設		
施設種別	介護老人保健施設		
対象施設名	介護老人保健施設西美濃さくら苑		
運営法人名	医療法人社団橘会（公設民営施設）		
所在地	〒503-2403 岐阜県揖斐郡池田町田中 5-1		
定員	150人	職員数	約120人
指導者	長良医療センター 大垣市民病院 揖斐厚生病院	加藤 達雄 医師 高橋 崇真 医師 宮部 由佳 看護師	

1 事前質問、会場質問への回答

問1 感染対策の継続について

いつまで感染対策を継続していく必要がありますか。

【回答】

現状のヨーロッパにおける感染状況を踏まえると、当面は、引き続き、感染対策の徹底が必要であると考えます。

問2 新型コロナウイルスとインフルエンザについて

新型コロナウイルスとインフルエンザとの違いは何ですか。

【回答】

インフルエンザは感染してから発病するまでの期間が1日程度と非常に短いですが、新型コロナウイルスは、感染してから発病までの期間が長く、発病前にウイルスを拡散させる期間が長いのが特徴です。

また、インフルエンザの場合、一般的には38度近くの発熱症状となり、出勤等は困難となりますが、新型コロナウイルスの場合は、軽症者が約8割のため、無症状や軽症での出勤等によりウイルスを拡散させる事例が多いのも特徴です。

問3 ワクチン効果について

ワクチンの効果等について教えてください。

【回答】

若年層を含めたワクチン接種率の上昇に併せて、新規感染者数の減少が見られたこと、また、ワクチンを接種した年代の順に新規感染者数の減少が見られたことから、ワクチンによる感染予防効果は日本でも証明されています。

また、各種データから、重症予防効果もあったと言えます。なお、高齢者の場合、2回接種済みであっても重症化・死亡例は、他の年代に比べて高くなっています。

なお、ワクチン接種後、5、6か月程度経つと、感染予防効果は低下していきませんが、重症予防効果は比較的保たれると言われてしています。しかし、イスラエルで実施された調査によると、ワクチンを2回接種した60歳以上の年代では、時間経過で重症化の発生率が増加したというデータもあります。

問4 3回目のワクチンについて

3回目のワクチン接種が必要か教えてください。

【回答】

3回目のワクチン接種により、感染予防効果・重症予防効果とも復活するというデータがすでに出ています。イスラエルでは、一時期、新規感染者の増加が見られましたが、3回目のワクチン接種が進んでいくにつれて、新規感染者の減少が見られています。

なお、3回目の接種による副反応を心配する人は多いと思いますが、発熱や倦怠感などの全身症状は、2回目より上回ることは少ないというデータがありますので、3回目の接種も行っていた方がよいと思います。

問5 退院時の受け入れについて

病院での新型コロナウイルス治療後の施設受け入れについて、留意すべき点があれば教えてください。

【回答】

退院した入所者に感染性はありませんので、通常どおり受け入れていただいて差し支えありません。

2 現場指導び講評

- ・ 感染者、濃厚接触者等を隔離するためのゾーニングの計画は作成されていたが、フロア内で濃厚接触者等をどうやってみていくかの計画が未策定であるため作成すること。なお、フロア内でのゾーニングのポイントは以下のとおりとなる。

【ゾーニングのポイント】

- 原則としてフロア全体をレッドゾーンとはしない
- 原則として個室対応とする（同室にする場合は衝立等で非接触とする）
- 入所者は自分の居室から出ない
- 食事は自分の居室で行う（できれば食事はディスポの容器でそのまま廃棄）
- 居室の入口にPPEを置き、入所者ごとにPPE交換、手指衛生を行う
- 共用のトイレは使用せず、自分の居室でポータブルトイレを使用する（ポータブルトイレにビニール、中におむつで吸い取り、ビニールごと廃棄）

- ・ 入浴介助時にマスクを外していた職員がいたため、常時、マスクの着用を徹底すること。
- ・ マスクの着用が可能な入所者については、可能な限り、着用を勧奨すること。
- ・ 洗面所に洗面台が複数あるが、ペーパータオルの設置場所は一か所のみエリアがあった

ため、ペーパータオルを複数設置することが望ましい。

- ・ デイルームのカーテンが全て閉まっており、換気の妨げになっている。
- ・ テーブルや手すりの消毒の際、次亜塩素酸ナトリウムの噴霧は推奨されていない。アルコール等を染み込ませたクロスで清拭することが望ましい。
- ・ 職員が携帯している手指消毒液について、サイズの大きいものにすると使い勝手がよくなり、使用頻度も高くなる。
- ・ もし、施設内で感染が発生しているなど、新型コロナウイルス感染の疑いがある、救急搬送されるような場合は、その情報を病院側にしっかりと伝えるようにされたい。